

▽ 事業概要

○ 電気事業

企業局では、12箇所の水力発電所を有し、その発電量の全てを、中国電力(株)に供給しています。

(営業施設)

発電所名	最大出力 (kW)	年間目標供給 電力量(MWh)	運転開始年月	制御所
菅野発電所	14,500	31,470	昭和40年8月	東部発電事務所
水越発電所	1,300	3,646	昭和40年9月	
徳山発電所	6,500	32,850	昭和40年10月	
本郷川発電所	260	1,118	昭和58年7月	
生見川発電所	1,800	7,719	昭和59年6月	
小瀬川発電所	630	3,030	平成元年4月	
末武川発電所	1,600	5,066	平成4年3月	
佐波川発電所	3,500	9,390	昭和31年9月	
木屋川発電所	1,850	5,271	昭和30年2月	西部利水事務所
新阿武川発電所	19,500	69,705	昭和50年3月	西部利水事務所
相原発電所(※)	82	—	平成26年5月	(新阿武川発電管理所)
宇部丸山発電所(※)	130	—	平成28年4月	厚東川工業用水道事務所
合計	51,652	169,265		

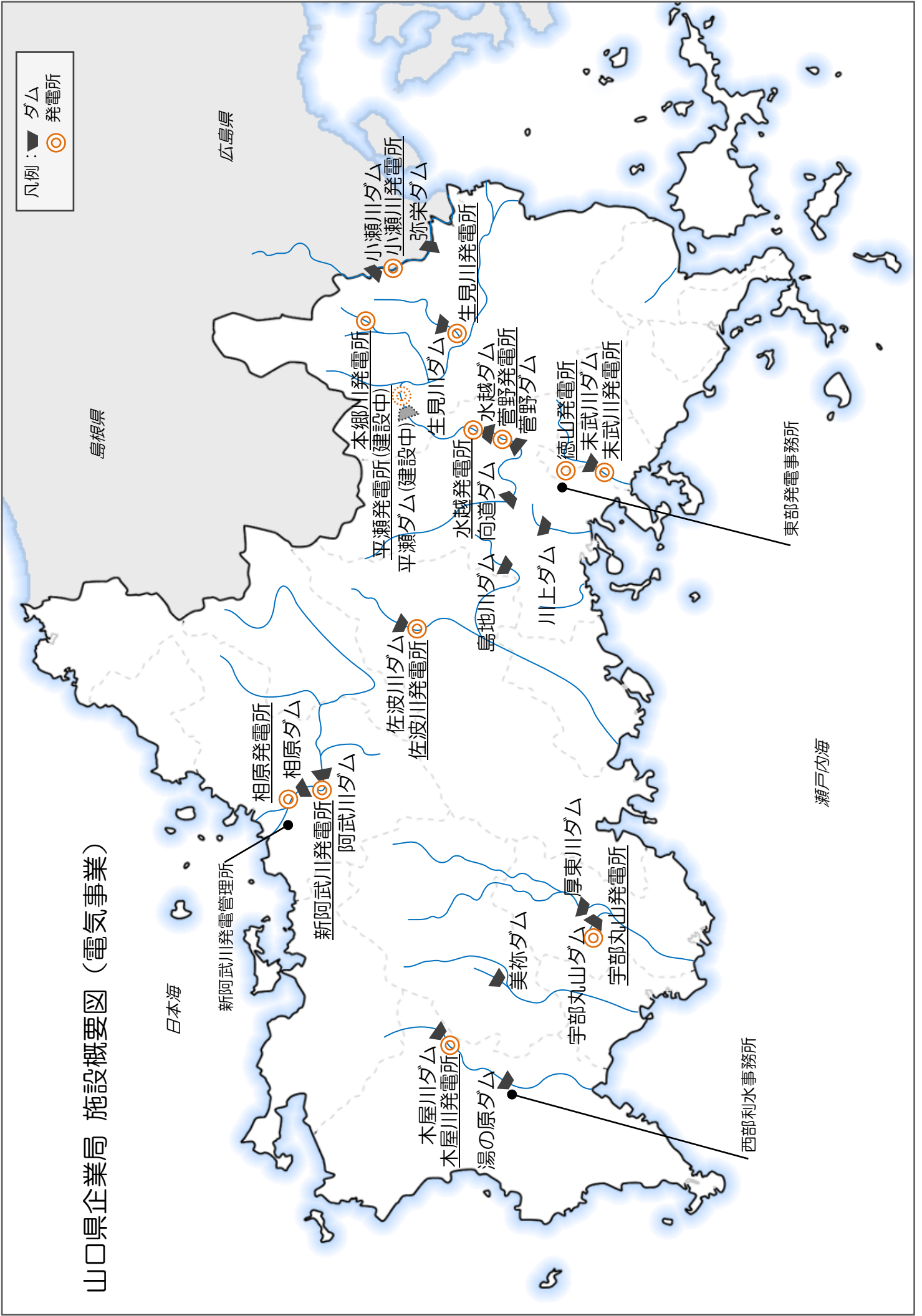
(※) 再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT) を適用した発電所

(建設中の施設)

発電所名	最大出力 (kW)	年間可能発電 電力量(MWh)	運転開始年月
平瀬発電所	1,100	約5,500	平成34年4月(予定)

山口県企業局 施設概要図 (電気事業)

凡例：▼ ダム
◎ 発電所



○ 工業用水道事業

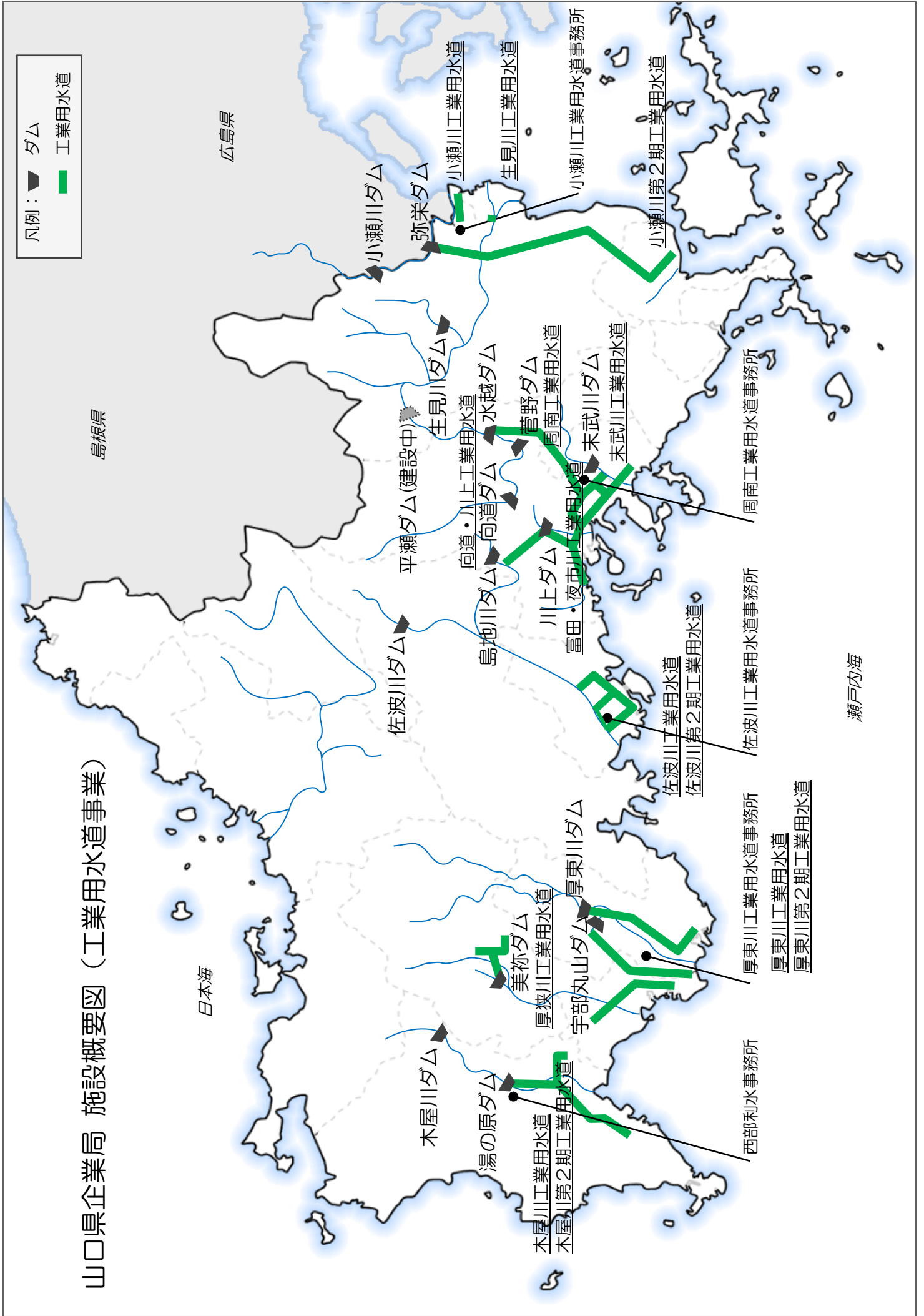
企業局では、14の工業用水道を運営し、平成29年2月1日現在、給水能力は、1,710,050 m^3 /日、契約水量は、1,588,410 m^3 /日で、いずれも全国1位の規模となっています。

(平成29年2月1日現在)

(単位： m^3 /日)

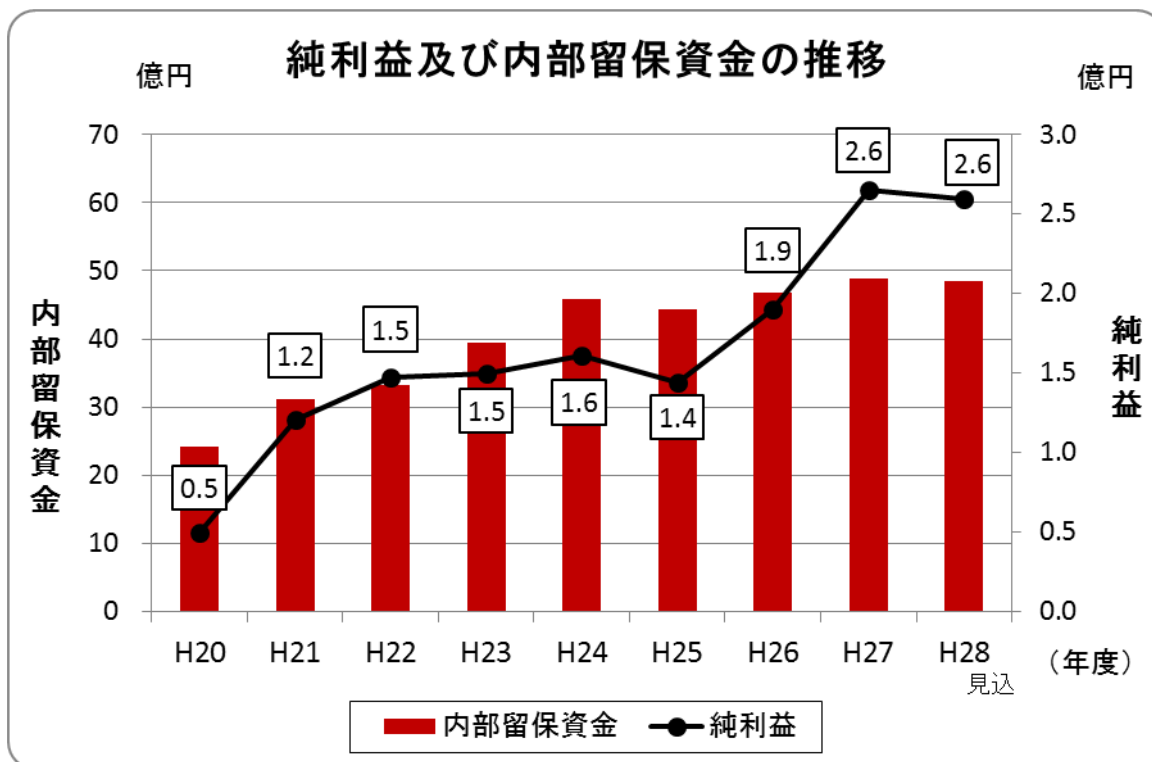
工業用水道名	給水区域	給水開始年月	給水能力	基本使用水量	未給水量
小瀬川工業用水道	岩国市 和木町	S35.10	148,800	148,800	0
小瀬川第2期工業用水道	柳井市	H12.4	5,600	3,600	2,000
生見川工業用水道	岩国市	S63.4	32,500	31,200	1,300
末武川工業用水道	周南市	H5.1	8,700	8,700	0
周南工業用水道	下松市 周南市	S41.7	436,800	428,200	8,600
向道・川上工業用水道	周南市	S15.10	168,000	168,000	0
富田・夜市川工業用水道	周南市	S56.8	94,200	94,200	0
佐波川工業用水道	防府市	S42.4	114,100	55,500	58,600
佐波川第2期工業用水道	防府市	S60.4	40,450	9,260	31,190
厚東川工業用水道	宇部市 山陽小野田市	S25.3	368,000	368,000	0
厚東川第2期工業用水道	宇部市 山陽小野田市	S54.10	59,500	58,900	600
厚狭川工業用水道	宇部市 美祢市 山陽小野田市	S57.11	50,000	40,250	9,750
木屋川工業用水道	下関市	S21.10	180,000	170,830	9,170
木屋川第2期工業用水道	下関市	H3.4	3,400	2,920	480
計			1,710,050	1,588,410	121,690

山口県企業局 施設概要図（工業用水道事業）

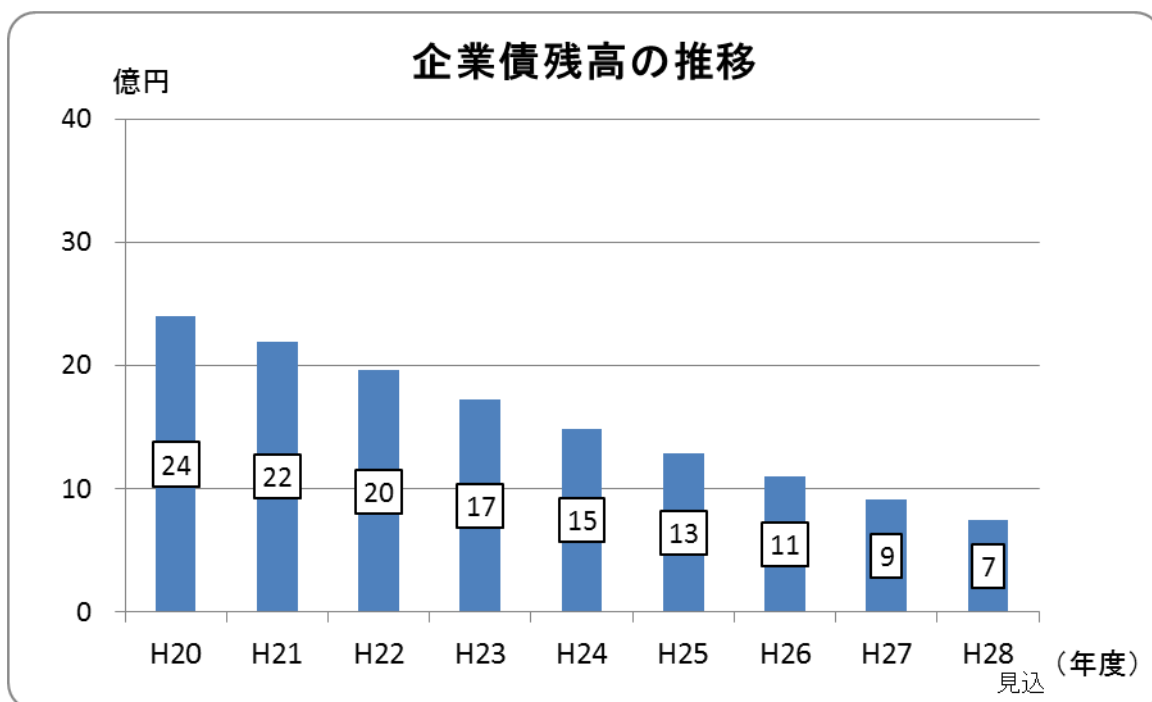


▽ これまでの経営状況の推移

○ 電気事業

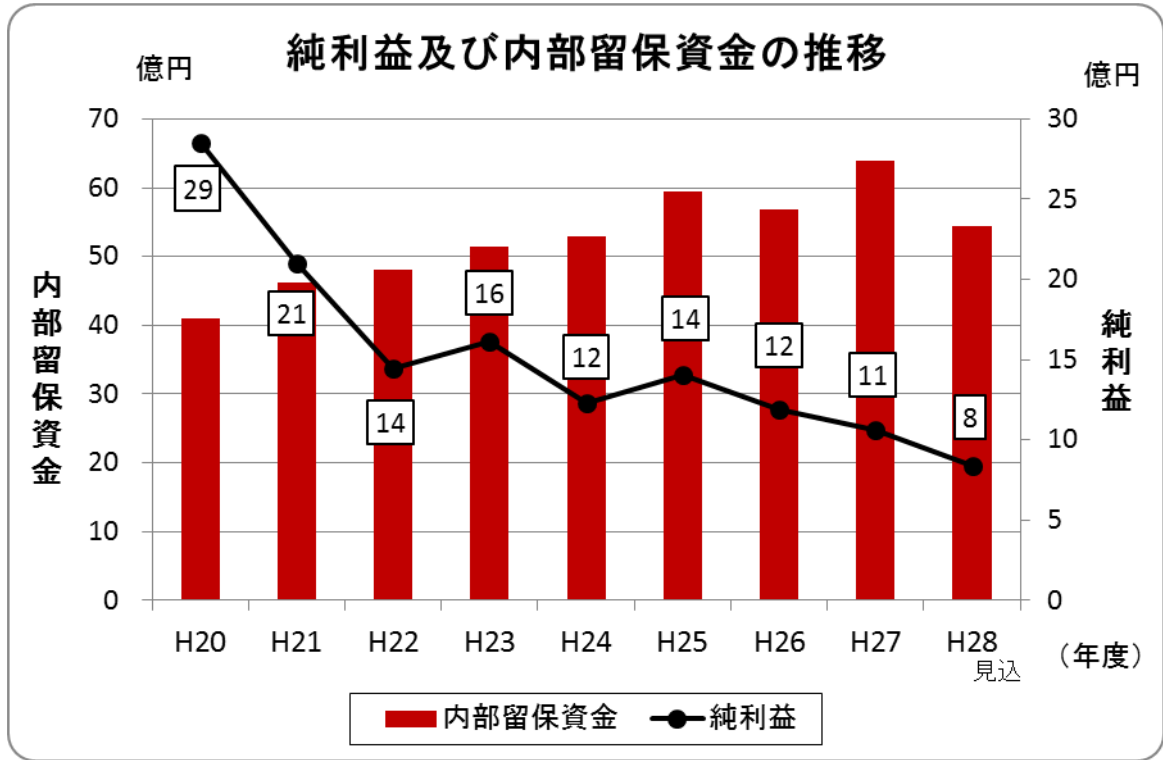


※27年度までは決算額、28年度は2月補正予算額を計上しています。
 ※平成26年度は会計基準の見直しに係る影響額を除いた額を表示しています。
 ※内部留保資金には一般会計への長期貸付金を含んでいます。

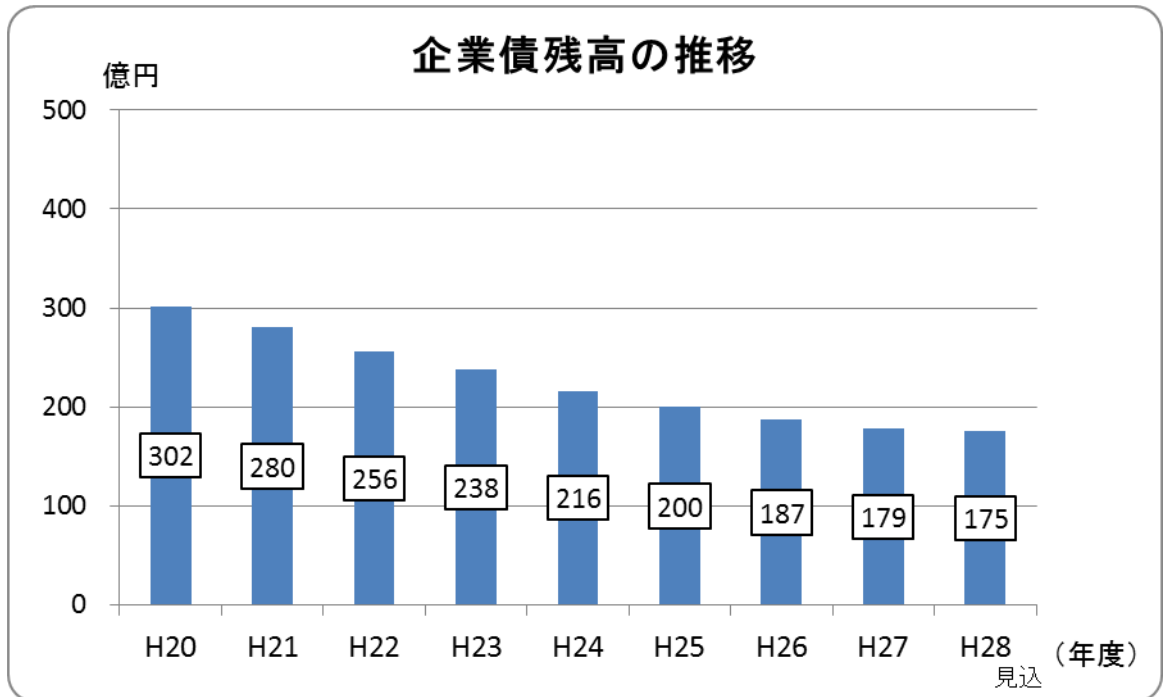


※27年度までは決算額、28年度は2月補正予算額を計上しています。

○ 工業用水道事業



※27年度までは決算額、28年度は2月補正予算額を計上しています。
 ※平成26年度は会計基準の見直しに係る影響額を除いた額を表示しています。
 ※内部留保資金には一般会計への長期貸付金を含んでいます。



※27年度までは決算額、28年度は2月補正予算額を計上しています。